

輸送動向について(平成18年度第3 - 四半期)

平成19年1月

1. 輸送概況

第3 - 四半期は、10月に秋雨前線及び低気圧の影響で関東から東北地方の太平洋側を中心とした大雨・強風による輸送障害が発生した他、11月には武蔵野線での機関車故障に端を発し、その後輸送障害が重なったことによる輸送混乱が約1週間に及び、これらの影響で、高速貨336本、専貨19本が運休した。

荷動きについては、12月中旬以降は年末に向けて需要が旺盛となったものの、暖冬等による石油の減送及び季節物資の伸び悩み等があった他、輸送障害の影響も受け、全般的に低調に推移し、輸送量全体では前年比97.9%となった。

コンテナ貨物では、一部品目の生産中止により減送となった化学薬品の他、エコ関連物資が前年を下回ったものの、政府米の出荷が好調であった農産品及び11月15日から専用列車の運転を開始し増送となった自動車部品の他、紙・パルプ、化学工業品などが前年を上回り、コンテナ貨物全体では前年比103.5%となった。

車扱貨物では、石灰石などが前年を上回ったものの、灯油及び重油が減送となった石油の他、一部区間で輸送終了となったセメントなどが前年を下回り、車扱貨物全体では前年比89.6%となった。

2. 輸送実績

(単位:千トン、%)

種別	3 - 四半期計		
	本年実績	前年実績	前年比
コンテナ	6,201	5,992	103.5%
車扱	3,642	4,065	89.6%
計	9,843	10,057	97.9%

3. 品目別輸送実績表

(単位:千トン、%)

種別	品目	本年実績	前年実績	増減	前年比
コンテナ	農産品	384	325	59	118.2%
	生野菜青果物	359	358	1	100.3%
	化学工業品	588	553	35	106.3%
	化学薬品	440	465	-25	94.6%
	食料工業品	901	897	4	100.4%
	紙・パルプ	992	941	51	105.4%
	他工業品	437	403	34	108.4%
	積合せ貨物	693	687	6	100.9%
	自動車部品	187	160	27	116.9%
	エコ関連物資	100	120	-20	83.3%
	その他	1,119	1,084	35	103.2%
コンテナ計	6,201	5,992	209	103.5%	
車扱	石油	2,363	2,625	-262	90.0%
	セメント	257	376	-119	68.4%
	石灰石	211	170	41	124.2%
	車両	376	432	-56	87.2%
	紙・パルプ	91	122	-31	75.0%
	化学薬品	151	153	-2	98.5%
	その他	193	188	5	102.4%
車扱計	3,642	4,065	-423	89.6%	
合計	9,843	10,057	-214	97.9%	

(車扱の品目別輸送量は社線発送トン数も含む数値、本年は速報値、前年は確報値)